

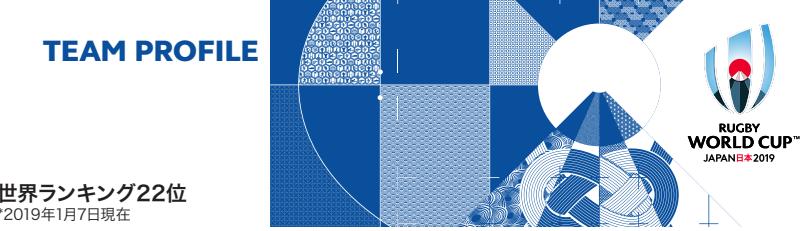


# NAMIBIA

ナミビア

前回プール5位／世界ランキング22位

TEAM PROFILE



## HISTORY

### 歴史

1999年大会(第4回大会)からラグビーワールドカップに出場を続けている。

1990年に南アフリカから独立し、「アフリカの笑顔」と称される同国は、隠れた観光地としても知られる。ラグビーというスポーツの存在もよく認知されている。6大会連続でラグビーワールドカップに参加している事実は、国民の誇りでもある。

しかし、人口250万人弱ながら広大な国土を持つナミビアの悩みはいつの時代も選手層の薄さ。すべての年代を合わせてもプレーヤー数は1万3000人前後だから、人材育成はなかなか進まない。

過去5回のラグビーワールドカップではまだ勝利はなく、通算成績は19戦全敗。2003年大会では0-142という大差でオーストラリア代表に敗れ、大会の最多得点差試合の記録を更新してしまった。

過去、隣国・南アフリカの代表選手には同国出身選手もいるなど、両国の情円球関係は深い。

## ROAD TO RWC 2019

### 近年の足取り

2019年のラグビーワールドカップ出場をかけたアフリカ地区予選で歓喜の拳を突きあげたのは2018年の8月18日だった。地元ウントフックでケニア代表とアフリカ地区予選全勝同士で直接対決。その大一番に53-28で勝利した。6大会連続の大舞台への出場を快勝で決めた。ニュージーランド、南アフリカ、イタリア、カナダと同じプールBに入り、戦う。

チームを率いるのは前回のラグビーワールドカップで同国代表を率いたフィル・デービス監督だ。同監督は元ウェールズ代表のLO/FLとして活躍した人で、2015年の6月から指揮を執る。前任者の辞任により、急遽現ポストに就いたが、以来、長くチームの指導にあたっている。

2015年大会までプレーした同国のレジェンド、NO8ジャック・バーガー(英国の名門サラセンズでプレー/ラグビーワールドカップ3大会出場)は引退した。チームは若返って大舞台初勝利を求める。

## STYLE

### 戦力とプレースタイル

アフリカ地区予選最後のケニア戦では先にトライを許すも、すぐに連続攻撃から反撃。逆転して勢いが出た。

その後もケニアのしづとい防御に手を焼いたナミビアだったが、24分、敵陣深くのスクラムからのアタックで、FBクリザンダー・ボタがスペースを突いてインゴールに押さえ、流れを変えた。このボタは、チームでもっとも経験値が高い。50キャップを超すキャリアだ。

さらに27分にはチーム一体となって攻め、HOルイ・ファンデルベストハイゼンがトライ。35分にはターンオーバー後、WTBヨハン・トロンブのビッグゲインでカウンタータックとなり、SOクリブン・ロブサーがゴール左隅へ(前半=22-7)。後半はFWがパワーを前面に出す自分たちのスタイルで、53-28と勝ち切った。

本大会では、南アフリカの国内大会に「ヴェルヴィッチャース」のチーム名で参加している成果を示したい。

## RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

▼イタリア代表  
対戦なし

▼南アフリカ代表  
対戦なし

▼ニュージーランド代表  
● 0 - 87 RWC2011(POOL D) ● 14 - 58 RWC2015(POOL C)

▼カナダ代表

● 11 - 72 RWC1999(POOL C)

## FACT FILE

協会創立▶1990年  
エンブレム▶鷲  
チームネーム▶Welwitschias ヴェルヴィッチャース  
ウェブサイト▶www.nru.com.na

/NamibiaRugby  
 @RugbyNamibia

## RWC RESULTS

1987	出場せず
1991	出場せず
1995	出場せず
1999	プール戦敗退
2003	プール戦敗退
2007	プール戦敗退
2011	プール戦敗退
2015	プール戦敗退

## HEAD COACH

フィル・デービス  
Phil Davies



現役時代はウェールズ代表のLO、バックローとして活躍。46キャップのキャリアを持ち、ラグビーワールドカップの1987年(第1回)大会と1991年大会に参加している。引退後、指導者の道へ。地元クラブで指揮を執り、経験を積んだ。ナミビア代表監督に就いたのは2015年ラグビーワールドカップの直前からだ。前年に同国協会のテクニカルアドバイザーとなり、以降、地道に強化を継続している。

## PLAYERS TO WATCH

NO8  
PJ(ピータース)・ファンリル  
PJ van Lill



2018年秋までに代表キャップ50のNO8。ラグビーワールドカップも2011年 & 2015年大会に出場している。ナミビア南部の都市、ケートマンスフープの生まれ。193cm、112kgの巨漢でLOでもプレーできる。主将経験もあり、仏・バイヨンヌで実力を高めた。

SH  
クライブン・ロブシャー  
Cliven Loubser



21歳の若き司令塔。2017年のロシア戦でテストマッチデビュー後、13試合で144得点。精度の高いキック力だけでなく、自らも積極的に走るSOだ(4トライ)。

国内の世代別代表を経て、活躍の場を南アフリカに移す。スーパーラグビーでのプレーを目指して進化中だ。